

村上の国有林における取組

—令和5年度—

下越森林管理署
村上支署



- 令和5年度岩船地域民国連携推進会議
- 林業の低コスト化・省力化(現地検討会等の開催)
- 国民参加の森づくりについて(社会貢献の森)

令和5年度岩船地域民国連携推進会議

【目的】

新潟県(村上地域振興局)、村上市、関川村と事業実行がスムーズに進むように意見交換を行う。



【内容】

新潟県(村上地域振興局)、村上市、関川村と令和5年度事業に係わる情報交換をしました。また、ニホンジカの生息情報交換や現地検討会の連携実施について呼びかけたほか関東森林管理局作成の市町村支援ツールを紹介しました。

【成果】

4月に実施した岩船地域民国連携推進会議により村上支署下刈等現地検討会(9月)と村上地域振興局のコンテナ苗植栽現地研修会(10月)を連携し実施することを決定、それぞれの現地検討会(研修会)で講話を実施しました。

【今後】

今後も会議を継続し関係機関との情報交換を続けたいと考えています。

■ 林業の低コスト化・省力化(現地検討会等の開催)

【目的】

林業の成長産業化の実現に貢献するための取り組みとして、新潟県と連携し、現地検討会等の開催を通じて低コスト化に資する施業技術について、事業レベルでの検討・実証に取り組む。



【令和5年9月28日下刈等現地検討会】
(下越森林管理署村上支署)



【令和5年10月20日低コスト再造林研修会】
(新潟県村上地域振興局)

【内容】

令和5年度下刈等現地検討会(令和5年9月28日)

保育作業における低コスト化について、従来行っている下刈回数削減に向けた現地検討や多目的造林用機械による下刈作業の実演、新潟県から造林作業の省力化に向けた取組の説明をいただき、現地での意見交換を行いました。また、令和5年10月20日に新潟県(村上地域振興局)による「民国連携低コスト再造林現地研修会」に参加し、国有林におけるコンテナ苗の取組について説明しました。

【成果】

新潟県と連携し双方で現地検討会等を開催、参加することにより、より多くの林業事業者や各関係機関との意見交換が可能となり、林業の低コスト化・省力化の取組について発信することができました。



【下刈省略判定の検討】



【多目的造林機械による下刈作業】



【コンテナ苗植栽実習】

【今後】

今後も新潟県(村上地域振興局)と連携し検討会等を継続し開催するとともに、他の関係機関に対しても連携し行なえる事業がないか呼び掛け実施したいと考えております。

■ 国民参加の森づくりについて(社会貢献の森)

【目的】

三面川流域を「さけの森林」として整備・保全を促進し、さらに、国の「伝統的工芸品」の指定を受けている「村上木彫堆朱」の材料であるホオノキの植樹を通じ村上市の伝統文化を後世に引き継ぐ活動に協力していくこと。



【令和4年8月1日協定調印式】



【令和5年10月29日森林整備イベント】

【内容】

近年の台風災害等により会場までの連絡道路が被災し3年連続して活動が中止となっていました。また、当初設定された地域は奥地であり、長年の活動により現地の整備も進み「さけの森づくり推進協議会」も高齢化が進んだことから移動もしやすく子供たちでも利用のしやすい場所で本活動を行うことが出来ないか等の要望があったことから新たな場所の選定に村上支署も取組み令和4年8月1日に新たな「さけの森林」として協定を締結し森林保全活動を再開いたしました。

【成果】

令和5年10月29日に森林整備イベント「さけの森づくり活動」が開催され、地元の小学生や朝日みどりの少年団のほか、村上市の交流都市である東京都荒川区からの参加者により、村上堆朱の原材料となるホオノキの植栽が行われました。イベントに当たっては村上支署職員も講師として参加し、植樹のほか炭焼の説明や薪割・間伐・枝打体験等が行われました。



【ホオノキの植樹】



【薪割体験】



【枝打ち体験】

【今後】

今後も村上市と連携し、三面川流域を「さけの森林」として整備・保全を促進し、村上市の伝統文化を後世に引き継ぐ活動に協力するとともに、体験イベント等をとおして森林整備や保全の必要性など環境教育に役立てたいと考えています。